

<要約>

日本の鉄道模型産業に関する構造分析
～産業組織論・マーケティングミックス戦略論の視点から～

The Analysis of the Railway Modelling Industry in Japan

藤井大輔
Daisuke Fujii

平野琢
Taku Hirano

本論では、わが国の鉄道模型産業の市場構造がどのように構成されているのか、また市場規模そのものはどれほどなのかを、産業組織論、マーケティングミックス戦略論それぞれからのアプローチにより分析し、鉄道模型産業の実相を明らかにした。

わが国の鉄道模型市場は、推計 95 億円（2015 年度）の市場規模があり、産業構造の一端を示す累積集中度・HHI を推計値から算出したところ、一般的な市場構造であることが窺えた。

また、主要 3 社の価格戦略・製品戦略を考察したところ、トミーテック（TOMIX）は価格差別化、マイクロエースは製品差別化の戦略をそれぞれ採用していることが推察された。また、関水金属（KATO）は価格・製品の両方差別化を図りながらもこれらが達成できない状況であることが推察された。

キーワード： 鉄道模型産業 Nゲージ 産業組織 マーケティングミックス戦略